



# Sleazy Affairs

## アマゾンCEOにタブロイド紙が脅迫文 背後にトランプ政権の影？

米アマゾンCEOジェフ・ベゾス氏が、米タブロイド紙から脅迫を受けた。同氏の不倫スキャンダルに関わる過激な私的写真を公開されたくなければ、ナショナル・エンクワイアラー紙の指示に従うよう求める内容だ。現政権に批判的なワシントン・ポスト紙を所有するベゾス氏に対し、脅迫文の送り手ナショナル・エンクワイアラー紙と発行元のアメリカ・メディア社(AMI)は長年の熱心なトランプ氏支援者としても知られている。今回の手口にどういった法的判断が下されるのか、注目が集まっている。



番組ホスト

**アンダーソン・クーパー**

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

ゲスト

**ジェフリー・トゥービン**

米国連邦検事補、ABCニュースなどを経て、ニューヨーカー誌の記者、2002年よりCNNの上級法律アナリストを務める。ハーバード・ロースクールを首席で卒業。1960年、ニューヨーク市生まれ。



**67) アマゾンCEOが、脅迫だとするメール全文をネットに公開**



**Anderson Cooper** Jeff Bezos, the founder of Amazon, owner of the *Washington Post*, is accusing the *National Enquirer* and its publisher of extortion and blackmail. He is making his case online in a stunning and very personal post on Medium titled “No thank you, Mr. Pecker.” Mr. Pecker—David Pecker—is a one-time confidant of President Trump’s. He helped candidate Trump hush up his alleged affair with *Play...with a Playboy* model.

Now, last month, the *National Enquirer* made Bezos’s affair with a...a...a woman a front-page story. That came hours after Bezos posted a statement on Twitter from he and his wife of 25 years announcing their plans to divorce.

So, what did the folks at the *Enquirer* allegedly offer him? Well,

**sleazy:**  
《タイトル》下品ないかがわしい  
**accuse A of B:**  
AをBのかどで告発する  
**extortion:**  
強奪、ゆすり  
**blackmail:**  
恐喝、脅迫  
**make one’s case:**  
順序立てて自分の言い分を述べる  
**stunning:**  
驚くべき、びっくりさせる  
**post:**  
①投稿、投稿メッセージ  
②～を投稿する、掲示する  
**Medium:**  
▶オンラインのブログサービス。  
**one-time:**  
かつての、以前の  
**confidant:**  
親友、相談相手  
**candidate:**  
立候補者、候補  
**hush up:**  
～を秘密にする、もみ消す  
**alleged:**  
申し立てられた  
**affair with:**  
～との恋愛沙汰、浮気、不倫

**front-page story:**  
一面記事  
**announce:**  
～を発表する、公表する  
**divorce:**  
離婚する

**folks:**  
人々  
**allegedly:**  
申し立てによると

**アンダーソン・クーパー** ジェフ・ベゾス氏はアマゾンの創始者で、ワシントン・ポスト紙のオーナーですが、ナショナル・エンクワイアラー紙とその発行元を、ゆすりと脅迫を受けたとして、告発しています。彼は、オンラインブログの「メディアム」に、驚くべき、しかも極めて個人的な「ベッカーさん（同紙を所有するAMIのCEO）、結構です」と題する投稿を行い、主張を明らかにしました。「ベッカーさん」とは、デービッド・ペッカー氏のこと、トランプ大統領とひとこ親しくしていました。彼は当時、大統領候補だったトランプ氏に手を貸し、彼とプレイボーイ誌のモデルとの間にあったとされる不倫関係をもみ消しました。

さて先月、ナショナル・エンクワイアラー紙は、ベゾス氏とある女性の不倫関係を、一面で伝えました。それは、ベゾス氏がツイッターで、25年間連れ添った妻と連名で、二人が離婚予定であることを発表した数時間後のことでした。

では、エンクワイアラー紙は彼にどんな提案をしたのでしょうか